

平成29年度 町政懇談会 大森地区

I. 日時・場所等

1. 開催日時 平成29年7月6日(木) 午後7時～午後8時30分
2. 開催場所 大森公民館
3. 出席者 立山町 舟橋町長、朝倉副町長、山元総務課長、青木住民課長、
舟橋農林課長、竹島建設課長
地元議員 佐藤康弘議員
大森地区振興会 高平清会長
企画政策課 清水課長、寺崎課長補佐、耕作主事、佐伯主事、大前主事
4. 参加者数 62名

II. 実施内容

1. 挨拶

- ①司会 清水企画政策課長(以下、司会) 開会
- ②舟橋町長(以下、町長) 開会挨拶
- ③司会 出席者紹介

2. 懇談会

- (1) ・町公共施設等マネジメント計画について 企画政策課長
・富山連携中枢都市圏について 企画政策課長
- (2) 地区からの協議事項

◎ 利田・大森おでかけワゴンについて、西大森集落を通るよう路線変更できないか

【青木住民課長】

町では、町民の交通手段の確保と福祉の向上を目的に町営バスを運行しております。ご要望の区間につきましては、乗車数の低迷によりまして、平成18年12月のバス路線の再編成時に路線変更となった経緯があります。運行路線の見直しにつきましては、2～3年に1回程度行うことにしております。昨年10月にちょうど見直したところです。利用者の方の利便性の向上につきましては、引き続き重要な課題であるということで認識しております。そのためご要望につきましては、年に1回から2回開催を予定しております「立山町地域公共交通会議」の中で、関係機関を交えて路線変更の有効性(利用者が増えるかどうか)や、効率性も検討していきたいと考えております。

今後も町ではバスなどの地域公共交通を確保するために、皆さまのご意見を伺いながら利用者の増加に向けて取り組んでいきたいと考えております。ぜひ大森地区の皆さまの町営バス、おでかけワゴンのご利用をよろしくお願いいたします。

◎ 半屋神社南側町道の法面に防護柵の設置を

【竹島建設課長】

ご要望の箇所につきましては、神社の裏の公園から豚舎に向かって水路が深くなっている状況でございます。かなりの高低差がありましたので、防護柵の設置基準と照らし合わせて現地を詳細に調査させていただいた上で、緊急性の高いところからできないか検討して参りたいと考えております。

また併せて通学路となっておりますS字のガードレールにつきましては、兼ねてから要望いただいておりますが、町内ガードレール等の安全柵のご要望が結構多く、一気にではできないものですから、緊急性の高いところから設置させていただきたいと思っております。

(3) 質疑・応答

- ◎ 高齢化により免許証返納が喫緊の問題です。山間地ではバスが伺って買い物を手伝いするという状況だが、やがては山間地でなくても、この周辺でもそういう状況下になるものと思います。この問題について今後の方針、どういうふうにご検討されているのか意見を伺いたい。

【町長】

町営バスの運行経費は年間2,000万円くらいかかっています。車輦代金関係なしで、ガソリン代と運転手の委託費です。それから運転手を確保できなくなっています。地鉄さん自身が地鉄のOBを雇っているような状況になっていまして、今大型二種の免許を持つ人をどうやって確保するかといった事情がございます。もう10年くらいたつとますます運転できない人たちが増えて、お医者さんにしても買い物にしても大変困られる方がますます増えてこれらと思います。商工会さんに委託している買い物代行サービスも1年間300万円税金使ってお願いをしています。個人では軽トラックを改造されて、山間地のほうに野菜や肉やいろんなものを売っておられます。移動販売サービスと言います。そういったいろいろなサービスをもっと拡充できるように、もしくはもっと効率化を図れるように、サービスの展開をなるべく早く考えて、皆さん方にお示ししたいと思っております。

- ◎ 平成30年度から減反等で関係団体あるいは消費者で話し合っただけという形になると思うが、町としてどういう形で関わっていくのか、JA、あるいは再生協議委員会にお任せするのか、お聞かせいただきたい。

もう1点は、台湾行って観光客呼んできて、立山町にいったい何の経済効果があるのか。あるいはどこかの女子大と風呂敷作って、立山町にどれだけの経済効果を試算されているのか。費用対効果を考え、しっかりと計画をもってやってもらいたい。

【舟橋農林課長】

平成30年産米から、国からの生産数量の数は示されませんが、需要と供給の数量の参考数値は出されます。37都道府県で県の再生協議会で数値を出すと。それを今度はアルプス地域農業再生協議会のほうに数値を出すということで、今までと変わらない数値の出し方を計画されています。

【町長】

アルプス農協管内で、町も入って再生協議会でやっています。これまで同様に、1市2町1村の皆さん方と連携して、しっかりと農業の予算を確保して皆さん方に配分できるよ

うに努力して参りたい。

2 つ目、私は観光産業に取り組むのは、富山地方鉄道立山線を残すためと、そればかり言っただけで参りました。立山黒部アルペンルート、昨年度の入り込み客は 92 万人余り、その内の外国人旅行客は 24 万人です。4 分の 1 強になってまいりました。何のメリットがあるか、新幹線が開通したのが一番の効果かもしれませんが、富山地方鉄道さんの乗車人員が増えています。特に 4 月、5 月というのはその外国人の方が乗っておられますから、本当によかったなと思います。就任した当初は、富山地方鉄道当時の社長さんはいつ廃線にすることを考えておられました。もし嫌だったら地鉄の線路を全て町で持ってくれと。上下分離方式と言いまして、ライトレールと同じです。ライトレールは富山市さんが国の補助をもらって整備して、地鉄さんは運転手だけ出しているから儲かるだけです。その儲かったお金を地鉄立山線につぎ込んでいると言われました。ところが、新幹線効果と外国人旅行客に乗ってもらっているおかげで、最近は言われなくなり安心していています。

外国人旅行客のうちの 6 割は台湾の方です。親日というのもありますし、立山黒部アルペンルートの雪の大谷のイメージがある。富山県という名前は知らないけども、立山黒部はわかる。この知名度を活かして、台湾で物売りたいと思って、そのために今台湾人の女性を町で雇っています。

女子大とも、実は目的は違うとこにあります。ここ 2、3 年地方創生交付金というのがありまして、大学と連携すると支援をしてくれます。ちょっと変わったことをしないと、なかなか国は応援してくれないものですから、こういうことをやらしていただいています。

- ◎ 道の駅がない。民間のドライブインはあるが、ドライブインまではちょっと広い道路やけどくねくねした道を走らねばならない。もう少し広げる計画はあるか。

【町長】

道の駅の件はいろいろな方々から要望を受けますが、あのルート上にはドライブインがありますので、その民間営業を邪魔するようなことは、行政としてというか私としてはできません。

道路の件は、あの道路は県道でございまして、今は危ないところから直してもらおうということで、坂井沢の農協さんの倉庫の辺り S 字カーブの所を用地買収やと終わりまして、工事にかかります。

- ◎ 富山市の下水道最終処理場（富山市岩瀬）の汚泥のことについて、去年の今頃北日本新聞に、富山地区センターで燃やすということで実施設計をやって、その結果を地元で説明して、やるかやらないかと。けどその後、なんの連絡もなしに、汚泥を焼却場で燃やしていると耳にした。それが事実なのかどうなのかお聞きしたい。

【清水企画政策課長】

今年の 4 月から本格焼却ということで実施しております。事実でございます。

- ◎ 南砺市と砺波市のごみの件について、今まで南砺市のごみ約 5 千トンだったが、今度は砺波市のごみを合わせて約 1 万何千トンに増やす。平成 14 年の時、南砺市のごみを回すと

いう問題が出てきて、砺波市と南砺市で新しいのを建てるからということだった。ところが実際には場所がないから現在あるものを改修すると。

今の代の広域圏の施設でもう15年経っている。30年の耐用年数ですから、もう後15年しかない。早いうちにこの問題を考えてかないと結局またここでやらしてくれという話になってくのがオチじゃないかと思う。早いうちに、町としてどう考えるのか検討していただきたい。

【清水企画政策課長】

砺波の広域圏が当初新しいものを造ると言っていたが、財政的な問題や土地の問題があって、現在の炉を延命させ、修繕して使うといったことで方向転換されました。平成32年末までの改修の期間、受け入れを1年間延長させてもらえないかと協議があり、2月に末三賀、大森、立山地区の方で説明会をさせていただいたところであります。その席上では、皆様からは概ねやむを得ないというご返事だったと私は伺いました。

【高平会長】

大森の振興会では、砺波の広域圏から持ってくるゴミについてはまだ余裕結構あるとのことで説明会を開いて、全員で了承をしました。汚泥については、全く私も今初めて聞きました。振興会にはそういう話は来ておりません。

【町長】

中新川広域行政事務組合の汚泥と、富山の分の汚泥と両方持ってきて、燃やして、問題は炉の温度が下がるかどうか、ダイオキシンの問題である。実験を去年させていただいて、結果的には問題なかったという報告を受けましたので、了解したのですが、そういったデータがもし行っていないなら落ち度があるかもしれません。富山地区広域圏の方に、わかりやすいもの出すように指導させていただきますし、場合によっては説明に伺うように言いたいと思います。

- ◎ 汚泥について、今の施設を建設したときに、地元が隣にスポーツ施設を造ってくれと言いい、その空き地にストックヤードを造り、そこへ汚泥を溜めて再利用するという計画であった。それがいつから焼却するようになったのか。

【町長】

再利用できるような物は燃やして発電すると電気代が余計当たります。ここ数年間、富山地区広域圏は太陽光パネルと同じ理屈で、汚泥（し尿）も捨てるのではなくて、一回乾かして、最後のちょっとになった「バイオマス」を燃やして発電すると、たくさん電気代が当たる、売電収入が入ることになりました。そのお金は修繕費として貯金しています。今言われた汚泥の問題は、アスファルトとかに再利用するためにしているのですが、実は全部使い切れていません。それでやっぱり埋め立てするしかなく、富山市の方に持っていくのが多くなっています。

- ◎ 6月30日、7月に入りすごい集中豪雨で九州の方は大変な目にあっております。昨年も多分7月に富山県特に立山町も集中豪雨で非常にすごい災害がございました。立山町は今の集中豪雨に対してどれくらいの被害があったのか。

【山元総務課長】

今回の大雨につきましては、概ね4日間連続警報が出ておりました。幸い立山町につきましては、被害は特にありませんでした。

- ◎ スクールバスの件について、最近土曜日でも学校があれば出ていてありがたいが、学校が早く終わったとき、低学年が夕方4時まで待つ必要があり、お母さん達も勤めており、学童保育にいると聞いたが、スクールバスは出してもらえないか。泊新は遠く、用水の際に道があり大変危険である。

【町長】

持ち帰って教育課長と教育長から区長さん通じて回答させてください。

- ◎ 選挙の日程が出ていた。町長の気持ちをお聞きしたい。

【町長】

今の一番の課題は、買い物難民対策とっている。これをどう提示できるかどうか、この町にとっては、これを重点的にやってかなきゃいけないのかなと思っています。バスの本数増やすのも増やしきれませんし、運転手も足りない。まだそれが整理できてないので、どうするとかしないとかはまだ後にさせてください。

- ◎ 観光客90万人とのことだが、地方鉄道ばかり利用されると思いません。当然ツアーバスもある。ところが、立山へ100万人も寄せたいという気持ちがありながら、あの道路改修が遅々と進んでおりません。拡幅をもっと早くして欲しい。

もう一点は、常願寺川の雑木について、切って通りを良くすればどうか。

【竹島建設課長】

県が坂井沢地内で拡幅を進めていただいておりますし、横江の方も少し進めております。昨今新しく道路を広げるとか、バイパスを作るという予算がなかなか付きにくくなっている。通学路対策、安全対策とか老朽化対策について国が力を入れて予算化してきているものですから、坂井沢につきましても、安全対策という意味で、観光バスがすれ違えば当然路肩がほとんど無くて、大人でもヒヤットすると思っておりますので、1日も早く事業促進するよう県に伝えていきたいと思っております。

常願寺川につきましては、国の方で管理している河川の部分が多いのですが、おっしゃられたようにたくさん雑木が生えています。やっぱり洪水になればそういったものが阻害になって流れにくくなってまた溢水とか堤防を弱めたりとかすることが考えられますので、機会を捉えて国にお願いしていきたいと思っております。

【町長】

今日、国土交通省の富山河川国道事務所に、議長と建設課長と私とで行き、1番の要望事項で常願寺川の雑木の話をしてきました。

3. 閉会の挨拶

高平清会長

佐藤康弘議員

閉会